

Peter Sabor 教授講演会

‘Labours of the Press’:

Samuel Richardson’s *Pamela* and
the Eighteenth-Century English Novel

2013年11月1日（金）午後6時～7時半

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階

コラボレーションルーム 1

英語による講演と質疑応答（通訳なし）

イギリス 18 世紀の文学と出版文化に関する研究、およびフランシス・バーニーからジェイン・オースティンに至るイギリスの女性文学の研究などで世界的に知られる Peter Sabor 教授（McGill 大学）による講演会を行います。

今回の講演のテーマであるリチャードソンの『パミラ』について、Sabor 教授は *Pamela in the Marketplace: Literary Controversy and Print Culture in Eighteenth-Century Britain and Ireland* (Cambridge UP, 2005) を著し、その出版文化を参照した斬新な洞察は、後の研究に大きな影響を与えています。

18 世紀イギリス文学に限らず、最新の文学研究に関心のある皆さまのご来場をお待ちしております。

この講演会に関するお問い合わせ先：武田将明

(takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp)